

## 令和6年度研修マネジメント力協働開発プログラム(全国版) 実施要項

### 1 目的

「令和の日本型学校教育」を担う新たな教職員の学びの姿の実現に向けて、教職員支援機構では教育委員会等との協働による新たな研修の開発を進めているところである。令和5年4月より、研修提供者の研修マネジメント力を高めることを目的とした当機構職員向けの「研修マネジメント力育成プログラム(略称：マネプロ)」を開発・実施し、「新たな教職員研修とはどういうものか」等の問いをたて、資料の読み込みや対話を重ね、試行錯誤を繰り返してきた。この取組の全国的な展開として昨年度は「研修マネジメント力育成プログラム(全国版)」と称してプログラムを実施したところである。

令和6年度においては、「研修観の転換」に向けた「全国的な協働開発」を一層進めていけるよう、「研修マネジメント力協働開発プログラム(全国版)」(略称：マネプロ全国版)と名称を改め、プログラムを展開することとする。

本プログラムでは、新たな教職員研修の在り方に関わるテーマを設定し、短期・中期・長期の研修ビジョンを描き教育実践につなげていく一連の構想力や、学び手の変化を意識し研修を推進するためのデザイン力の向上を目指す。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 期間 第1回 令和6年6月3日(月)～令和6年6月4日(火)  
第2回 令和6年10月18日(金)  
第3回 令和7年2月26日(水)

4 標準定員 140名

5 実施方法 Web会議ツール(Zoomミーティング)により実施(同時双方向通信を行う)

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部  
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

### 7 参加者

#### (1) 参加資格

以下の者であって、今後、各地域において教職員の学び(研修観)の転換及び協働展開を図るうえで中核としての役割が期待される者

- ア 都道府県・指定都市・中核市教育委員会及び教育センターの研修担当主事等及び教職大学院関係者
  - イ 小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の研修主任等
- (原則として、第1回～第3回の4日間を通して参加可能な者)

#### (2) 推薦人数

推薦する場合、以下のとおりとする。

各都道府県教育委員会においては2名程度とする。各指定都市教育委員会、各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属学校を置く各国公立大学、教職大学院を置く各大学及び国立青少年教育振

興機構においては1名程度とする。

ただし、教職員支援機構に職員を派遣している自治体については上限5名とする。

(3) 推薦手続き

推薦期限は、令和6年4月26日(金)とする。

推薦する機関においては、推薦する候補者を取りまとめて、「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 参加者の決定

推薦する機関からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、参加者数を調整する。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に、推薦順位を入力すること。

8 研修内容

[別紙1]日程表のとおり

9 事前課題

参加者決定時に別途連絡する。

10 その他

- (1) 本プログラムでは、Web会議サービス「Zoomミーティング」((株)Zoomビデオコミュニケーションズ)を用いて同時双方向通信を行う。参加に当たっては、当該ソフトウェアのインストールや安定したインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Webカメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。
- (2) Web会議サービスへの参加方法等の詳細については、参加者決定時に別途連絡する。
- (3) 本プログラムの参加に際し、特別な配慮が必要な者(障害、持病等)を推薦する場合には、事前に教職員支援機構に相談すること。
- (4) 本プログラムでは、「Google Workspace」を利用する。利用に際し、Googleアカウントや簡易マニュアルは当機構で作成し、参加者決定時に連絡する。
- (5) 本プログラムでは、参加者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な参加環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

## 令和6年度 研修マネジメント力協働開発プログラム(全国版) 日程表 ～「新たな教職員の学び」をデザインする～

教職員の「主体的・対話的で深い学び」の実現のために

\*いずれの回もオンライン開催

### 第1回1日目(令和6年6月3日開催)(9:30～17:00)

9:00	9:30	9:40	10:40	11:20	12:30	13:30	15:45	16:45	
6月3日(月)	受付	イントロダクション	グループセッション (自己紹介/教職員研修実践交流)	講義・演習 求められる 「新たな教師の学び」 (教師自身の「主体的・対話的で深い学び」の実現)  独立行政法人 教職員支援機構 理事長 荒瀬克己	グループセッション 「新たな教師の学び」 への提言を読み解く (中教審・OECD)	昼休憩	講義・グループセッション 「実践記録を通して 新たな教師の学びを探る」  福井大学大学院 連合教職開発研究科 副研究科長 柳澤昌一	記録の検討・グループセッション 「記録を通して研修の展開とデザインを読み解く」	諸連絡

求められる「新たな教職員の学び」とその展開

### 第1回2日目(令和6年6月4日開催)(9:15～17:00)

9:00	9:15	9:30	10:30	12:00	13:00	16:00	16:45	
6月4日(火)	受付	日程等確認	グループセッション 「職場における学習コミュニティを育成する視点」	作成・グループセッション 「校内研修の展開をデザインする①」 教職員研修の展開と学習コミュニティの発展をめぐるデザイン・構想	昼休憩	作成・グループセッション 「教職員研修の展開をデザインする②」  ※グループでのクロスセッションで学びを深める	グループセッション 「研修全体のリフレクション」	閉会行事・諸連絡

協働の学びの展開と実践コミュニティの発展

### 第2回(令和6年10月18日開催)13:00～17:00

12:45	13:00	13:10	14:00	16:00	16:40	
10月18日(金)	受付	イントロダクション	グループセッション 「11月のセッションとその後の取組をふり返る」	クロスセッション 「新たな教職員の学び」への取組のあゆみと現段階	グループセッション 「二つのセッションの振り返りと展望」	諸連絡

「新たな教職員の学び」への取組のあゆみ:中間の共有と省察

※ 日程表に示している開始終了時刻は固定。その他の時刻及び内容は案であり、協議の状況等を見て調整する可能性がある。

※ 昼休憩については1時間程度とし、その他適宜、休憩時間をとる。

※ 参加者の中から、「実践記録」の作成者を募る予定。詳細は別途連絡する。

※ 全体を通じて、少人数でのグループ内対話を中心とした研修展開を予定している。(受講者4～5名・ファシリテーター1名の構成を基本とする。)

### 第3回(令和7年2月26日開催)11:00～17:00

10:45	11:00	11:15	12:00	13:00	16:00	16:40	
2月26日(水)	受付	イントロダクション	グループセッション 「取組の振り返りと構想」	昼休憩	実践構想発表 「これまでの経緯と来年度の構想」	グループセッション 「構想の実現に向けて」	諸連絡

「新たな教職員の学びの実現」に向けた協働開発“過程”重視の交流会